

令和3（2021）年度  
事業報告書

社会福祉法人 仙台市肢体不自由児者父母の会



社会福祉法人 仙台市肢体不自由児者父母の会は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として第二種社会福祉事業を行っている。

## 1 概 括

- ① 世界的な疫病（新型コロナウイルス感染症 COVID-19）が世界に出現して3年目になった。仙台自立の家も販売活動の中止または自粛を余儀なくされた。自治体による感染症緊急事態宣言または蔓延防止等重点措置に従い利用者には時間短縮または通所自粛を呼び掛けた。数人の利用者がこれに応じたが、そのことで強い不安を訴える利用者も続出した。当事業所が利用者の日常生活リズムを維持するために必要な場であることを強く認識させられる事案であった。また本人もしくは保護者の高齢化に伴い、通所を続けることが困難になり退所する事例が続いている。
- ② 公費による障害福祉サービス事業収益は36,420千円（前年度比123千円減）。
- ③ 障害福祉サービス事業収益に占める人件費割合は、令和元年度は77.12%、令和2年度は74.49%、本年度は76.39%であった。
- ④ 就労支援事業収入は6318千円（昨年度比470千円増）。生産等にかかる支出は2853千円となり、実質的な収益は3465千円（昨年度比210千円増）。
- ⑤ 利用者の工賃総額は上記の3465千円。令和2年度の3270千円と比べ増加した。
- ⑥ 平均出席率はおおよそ80.68%。一日平均出席者数は約24.37人であった。障害の重度化と高齢化（家族共々）が通所時の困難を増大させており、出席日数の多寡にも大きな影響をもたらしている。
- ⑦ 仙台自立の家後援会の資金協力により非常災害時に地域の障害者や高齢者を緊急避難所として受け入れられるように災害備蓄品を準備している。大災害に備えて災害備蓄品を充実させ、施設として地域貢献に努めていきたい。

## 2 法人運営に関する事項

### (ア) 概況

理事 6名、監事2名（令和3年6月26日就任）

評議員7名（令和3年6月26日就任）

### (イ) 評議員会・理事会

令和3年6月 5日【第1回理事会】

第1号・令和2年度事業報告書の件、第2号・令和2年度計算関係書類及び財産目録並びに監査報告書、第3～9号・次期評議員推薦の件、第10号・評議員選任・解任委員会招集の件、第11～16号・次期理事推薦の件、第17～18号・次期監事推薦の件、第19号・令和3年度第1回評議員会招集の件

令和3年6月26日【定時評議員会】

第1号・令和2年度事業報告の件、第2号・令和2年度計算関係書類及び財産  
目録並びに監査報告の件 第3～8号・次期理事選任の件、  
第9～10号・次期監事選任の件

令和3年6月26日【評議員選任・解任委員会】

第1～7号・次期評議員選任

令和3年7月 3日【第2回理事会】

第1号・理事長の選任、第2号・業務執行理事の選任

令和4年3月12日【第3回理事会・議決の省略】

第1号・令和3年度第1次補正予算案の件、  
第2号・令和4年度事業計画案の件、第3号・令和4年度当初予算案の件、  
第4号・経理規定変更の件、第5号議案・評議員会召集の件

令和4年3月20日【第2回評議員会・議決の省略】

第1号・令和3年度第1次補正予算案の件、  
第2号・令和4年度事業計画案の件、第3号・令和4年度当初予算案の件、  
第4号・経理規程変更の件

(ロ) 監査

令和3年5月21日 法人内部監査

(ハ) 寄付金

総額 326,440 円

内訳 (法人本部) 計 196,000 円

(施設) 計 130,440 円

3 「仙台自立の家」運営に関する事項

(イ) 通所者の状況

表1 利用者住所地別 (令和4年3月31日現在)

(年度末現在)			
住 所 地	男	女	計
仙台市内	16	8	24
塩竈市	0	0	0
富谷市	1	1	2

表2 通所者の異動状況 (各月1日現在)

4	28		10	28	
5	28		11	28	11/19 1名退所
6	28		12	26	12/31 1名退所
7	28		1	26	
8	28		2	26	
9	28		3	26	

表3 障害支援区分別 (令和4年3月31日現在) 表4 年齢別 ( // )

なし	10
区分1	1
区分2	5
区分3	4
区分4	3
区分5	1
区分6	2
計	26

年齢	人数
10代	0
20代	7
30代	5
40代	8
50代	4
60代	2
計	26

工賃 工賃支給総額 3,465,154円 (※期末工賃支給せず)

平均支給月額 10,464円/人

(ロ) 行事

表1 施設行事

月	内 容	月 日	内 容
4	年度開始式・精励賞授与式	9	ソーシャルワーク実習他受入
5	定期健康診断	10	家族のつどい
6	ソーシャルワーク実習他受入	11	定期健康診断
	防災訓練	12	忘年会
7	ソーシャルワーク実習他受入	1	
8	野外レクリエーション	2	
	ソーシャルワーク実習他受入	3	防災訓練

表2 安全管理

月 日	内 容	月 日	内 容
6/14	防災訓練	3/25	防災訓練
3/28	防災設備及び備蓄点検		

(ハ) 職員研修

1) 外部研修

月 日	内 容	会 場	参加者	周知
7/21	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	県管工事会館	1	復命書
9/14	感染拡大防止対策研修	オンライン	1	復命書
9/28	レジリエンス研修	オンライン	1	復命書
10/21	～22 改正食品衛生法セミナー	オンライン	1	復命書
11/10	リスクマネジメント研修	オンライン	1	復命書
11/29	福祉サービス苦情解決研修	オンライン	1	復命書
2/1	クレーム対応研修	オンライン	1	復命書
2/16	サビ管資格更新講習	オンライン	1	復命書
2/19	みやぎ歯科相談室研修会	オンライン	1	復命書
2/28～ 3/1	福祉サービス事業者集団指導	オンライン	1	報告
3/7	工賃スキルアップ研修	オンライン	1	復命書
3/23	インボイスまるわかりセミナー	オンライン	1	報告

2) 内部研修

月 日	内 容	講師	参加者	周知
4/22	育児・介護休業規程および就業規則について	尾暮 耕司	常勤職員	研修記録
5/27	<仙台市>よくある指摘事項事例集より	尾暮 耕司	常勤職員	研修記録
6/24	「親なきあと」について	鴫田 征樹	常勤職員	研修記録
7/29	コミュニケーション技術・対人援助技術研修（報告）	赤間めぐみ	常勤職員	研修記録
8/26	コロナ対策検討会から（報告）	遠藤 綾乃	常勤職員	研修記録
9/22	感染症拡大防止対策オンライン研修（報告）	小原 奈央	常勤職員	研修記録
10/21	レジリエンス研修（報告）	遠藤 綾乃	常勤職員	研修記録
11/25	自閉症や知的障害者が奇声を出す理由と対策・対応について	武山 英樹	常勤職員	研修記録
12/23	ふれあい製品フェア検討会参加報告	赤間めぐみ	常勤職員	研修記録
1/27	感染症発生時における業務継続計画	尾暮 耕司	常勤職員	研修記録
2/24	エシカル消費について	鴫田 征樹	常勤職員	研修記録
3/24	施設ホームページ改善について	松田理事長	常勤職員	研修記録

## (二) 就労支援事業

### ①生産的活動

#### ・野菜栽培

野菜ハウスは現在東側下部，西側上下部で稼働している。生産した野菜の多くはヨークベニマル南吉成店，中山店に出荷，区役所等での出張販売，また定期的に仙台Iゾンタクラブ，レストランル・ポタジェ，などに出荷している。干し大根の販売も好調であった。新型コロナウイルス感染症で外部販売が激減したが、ヨークベニマルへの安定した出荷量があり、影響は少なかった。

#### ・焼き菓子

収益増を目指して、パッケージの工夫，新製品の開発を始め季節に応じた焼き菓子づくりなど様々な工夫をこらしてきた。またチラシなど販売促進に努め，効果があった。食品の安全性を担保するための管理手法である世界基準「HACCP法」に準拠した製造を行っている。

#### ・情報処理

受注がある季節が限定的で、その他の期間には活動がないという問題がある。便箋や袋製品など自主製品の開発に努めた。

#### ・手工芸部門

積極的に製品の開発に努めた。多様な製品を展開し消費者の目に触れる機会を多くすることで販売につなげた。

#### ・加工食品事業

販売先が新型コロナウイルス感染症の影響ですべて中止になってしまい、活動できていない。

#### ・仕入事業

製品の多様性を図り製品を仕入れている。仕入れ費用が高いため、銘柄の選別と、売り切れる量だけ購入するなどして収支バランスを改善した。

#### ・販売活動

新型コロナウイルス感染拡大のため販売企画の中止が相次ぎ，苦しい展開となった。チラシによる販売促進、またインターネットを使ったデリバリー企画へ参加するなど努力した。

## (ホ) その他

- ・新型コロナウイルス感染症への対策について  
館内での対策は大きく分けて二つ。

一つはエアゾル吸引による感染対策。食堂テーブルにパーテーションを設置し、食事時のリスク軽減をはかり、マスク、手洗いを励行。空気清浄機を各室に置いてウイルスの浮遊を抑制した。

もう一つは接触による感染対策。ドアの引手、テーブル、椅子、手すりなど人が触るところを毎日アルコール消毒している。

その他、国や県の緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置が発令時に連動して時間短縮または通所制限を利用者に呼びかけるようにした。しかし、そのために生活リズムが崩れ強い不安を訴える利用者が続出し、家族に暴力を振るう事案もあった。感染症が蔓延している時期にあって、いかに事業を継続するか、柔軟かつ強靱な対策が今後も求められる。

・実習者 介護等体験実習（2名）

ソーシャルワーク・現場実習（7名）

支援学校現場実習（4名）

以上



事業報告の附属明細書

令和3（2021）年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

社会福祉法人 仙台市肢体不自由児者父母の会  
理事長 松 田 廣 勝